

平成 28 年 4 月 4 日



塩竈市

独立行政法人 都市再生機構
宮城・福島震災復興支援本部

東日本大震災復興関係

塩竈市と UR 都市機構が災害公営住宅のコミュニティ形成で連携

～コミュニティ形成支援に係る協力協定の締結～

4月11日（月）、塩竈市と UR が災害公営住宅におけるコミュニティ形成と地域支え活動の推進に関し協力協定を締結します。

東日本大震災から5年を経過し、災害公営住宅への入居がピークを迎えています。それに伴い入居者の高齢化や孤立化が新たな課題として認識されています。

塩竈市と UR は、この復興の新たな課題解決に向けてコミュニティ形成に相互協力して取り組んでいきます。

この協定締結にあたり、締結式を開催しますのでご案内申し上げます。



伊保石（写真左）と錦町（写真右）両地区で実施した交流イベントの様子

○ 問い合わせは下記にお願いします。

塩竈市市民総務部政策課 津田 電話 022 (355) 5631

UR都市機構 宮城・福島震災復興支援本部
住宅計画チームリーダー 佐々木 電話 022 (355) 4564

記

【塩竈市災害公営住宅におけるコミュニティ形成に係る協力協定締結式】

- 1 開催日時 : 4月11日(月) 午後15時00分開始
- 2 開催場所 : 塩竈市役所2階会議室
- 3 出席者 : 塩竈市長、UR宮城・福島震災復興支援本部長
- 4 次第案
 - 1) 市長挨拶
 - 2) 本部長挨拶
 - 3) 協力協定への署名
 - 4) 記念撮影※ 今後、次第が変更となる可能性があります。
- 5 協力協定に基づく取組内容 別紙

【浦野々島地区】15戸 入居済
災害公営住宅集会所を活用した島民共助による地域支合い活動の実践
※ 地元自治会のご意向を踏まえて、取組対象地区を広げていきます。

【清水沢地区】170戸 平成28年6月入居開始
災害公営住宅の自治組織の立ち上げに向けた、入居者や地元住民による交流会の実践

以上

別紙 塩竈市災害公営住宅におけるコミュニティ形成の取組み内容

1 取組内容

浦戸野々島地区 15戸 入居済

※ 浦戸の地元自治会のご意向を踏まえ取組対象地区を広げていきます。

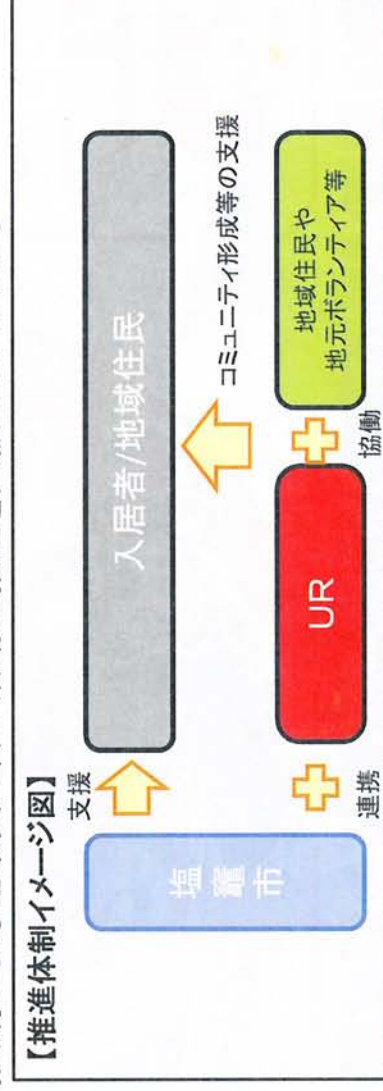
- 1) 災害公営住宅集会所でのボランティア等との協働による「お茶っこ」や「健康体操」など、コミュニティ形成促進のための活動を支援していきます。
- 2) また、コミュニティをつうじた島の方たちの共助による「見守り」、「配食」や「送迎」などの地域支合い活動への拡大・発展に向けて、先進事例の視察や研修会を開催します。

清水沢地区 170戸 平成28年6月入居開始

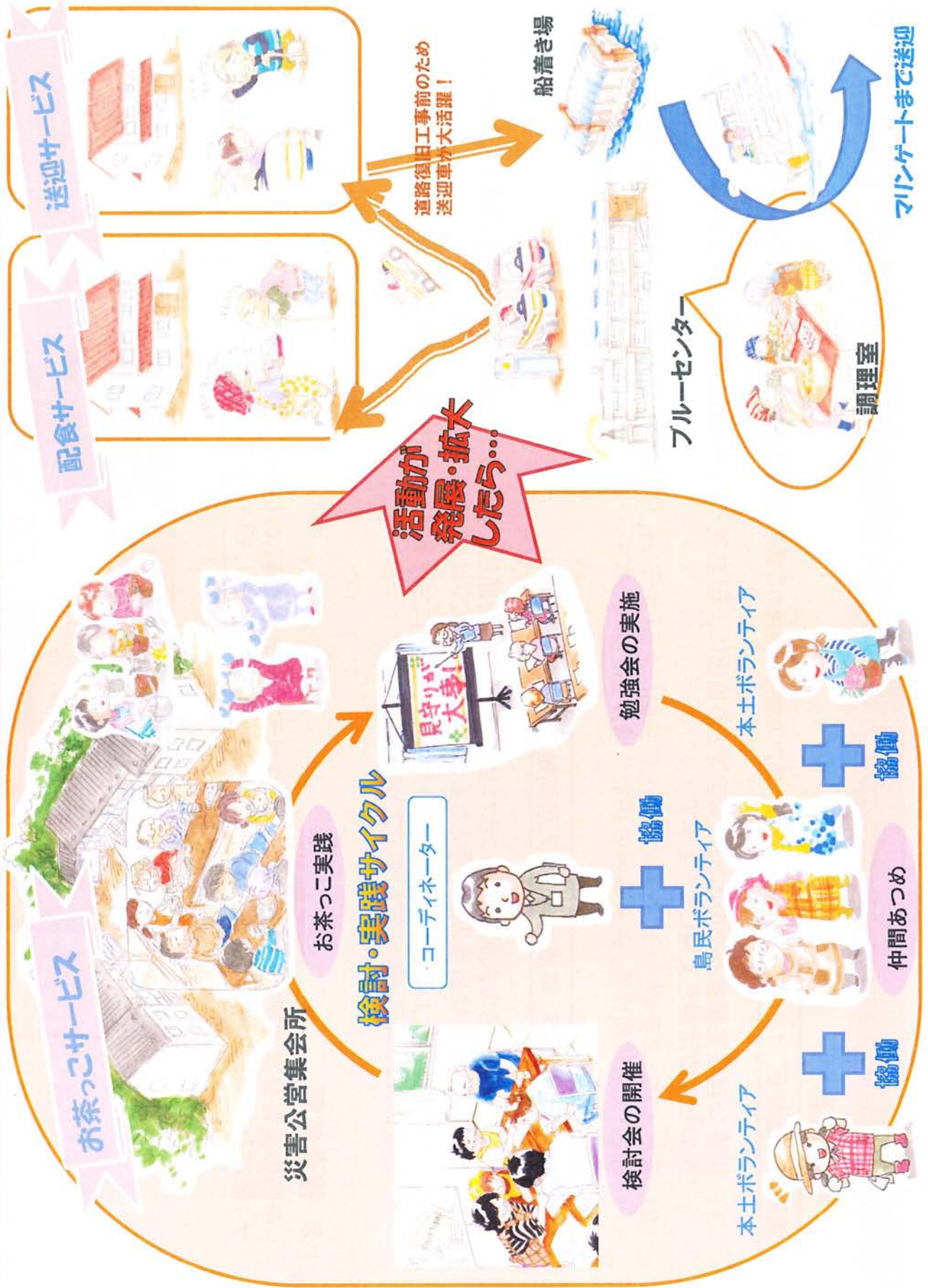
- 1) 災害公営住宅の入居手続きに合わせて、交流会等を開催し入居者や地域住民の交流を促進するとともに、これを通じて団地自治の担い手となる人材や組織を見つけ出します。
- 2) この担い手による自治組織の立上げや、集会所等における自主的な住民交流会の開催を促し、災害公営住宅のコミュニティ形成を支援していきます。

2 推進体制

市内の災害公営住宅において、地域住民やボランティア組織等との協働により入居者や地域住民とのコミュニティ形成及び、住民共助による地域支え合い活動の推進を支援していきます。



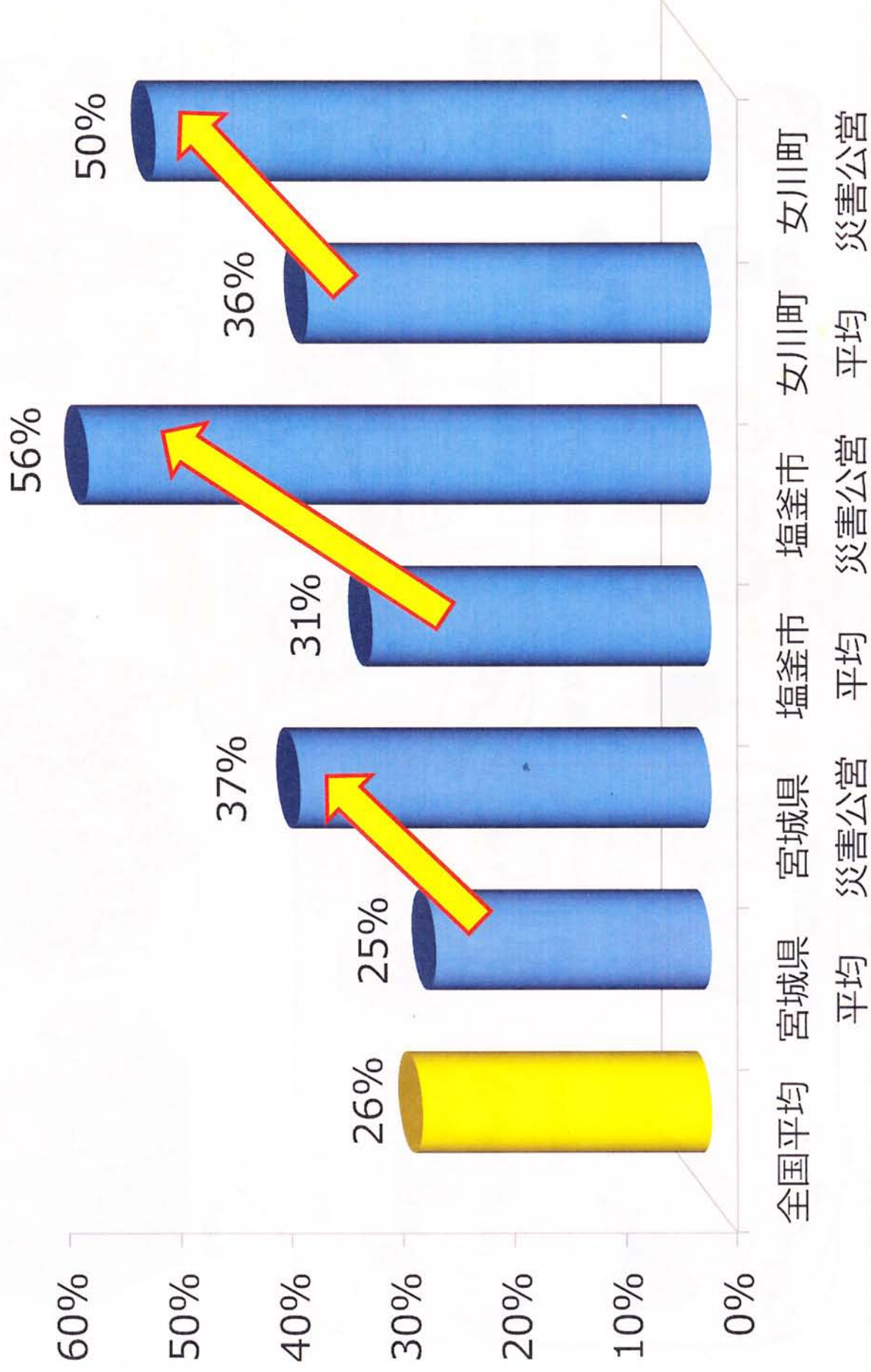
参考資料1 浦戸野々島地区における地域支合い活動の取り組みイメージ



参考資料2 清水沢地区におけるコミュニティ形成の取組イメージ



高齢化率について（県内平均と災害公営住宅入居者）



出典：平成27年度版高齢社会白書（内閣府）、高齢者人口調査結果（平成27年度）（宮城県）
災害公営住宅管理に関するアンケート（宮城県）